

# 親子読書におすすめ ～日本の物語②～

<b>913 5分後に意外な結末シリーズ</b>	<b>913 おばけずかんシリーズ</b>	<b>913 おはなしねこあつめ</b>
学研教育出版	斉藤洋 講談社	汐月遥 集英社
読み続けたい内容で、大人でも楽しめます。		色々なネコが登場し、ほんわかした気持ちになれる一冊。親子で読めば「どのネコが好き？」と盛り上がります。
<b>913 ぼくらシリーズ</b>	<b>913 走れメロス</b>	<b>913 クッキーのおうさま</b>
宗田理 ポプラ社/ KADOKAWA	太宰治 角川書店ほか	竹下文子 あかね書房
兄妹3人とも小学生の間よく読んでいた本なので  私や、上の子も昔読んだことがあり、みんなで話げできたから	メロスはめっちゃくちゃだが、親友のために走る勇者だから。	子どもらしさやかわいさがあふれている作品です。
<b>913 こまったさん・わかったさんシリーズ</b>	<b>913 わかったさんのクッキー</b>	<b>913 おしりたんていやみよにきえるきよじん</b> <b>913 おしりたんていむらさきふじんのあんこうじけん</b>
寺村輝夫 あかね書房	寺村輝夫 あかね書房	トロル ポプラ社
わかったさんは私が小学生の時に読んでいた本で、大人も子どもも一緒に楽しめ、弟と3人でクッキングもできて楽しめました!!	数年前、シアター21（21世紀美術館）でお芝居として上映され、子どもと一緒に観に行った思い出深いお話。読み終わった後、美味しいロッククッキーを作りたくなります。	親子で楽しく読めたので。  読んだ後いつも「スイートポテトが食べたい」と言うので子どもと一緒にスイートポテトを作りました。
<b>913 めいちゃんの500円玉</b>	<b>913 西の魔女が死んだ</b>	<b>913 かわいいこねこをもらってください</b>
なかがわちひろ アリス館	梨木香歩 小学館	なりゆきわかこ ポプラ社
ちいさなめいちゃんがたまたまひろった500円玉でたくさんのけいけんをして、お金の大切さ、お金より大切なものを知った1日のお話です。よみおわって、ほっこりとした気持ちになります。	昔読んでおもしろかったの、小学生におすすめかな・・・と思って	こねこを子どもが拾ってきたのですが、アパートに住んでいる為、飼うことが出来ず、必死になって飼い主を探すお話です。子どもも大人も一緒に考えてもらえるお話でした。
<b>913 お昼の放送の時間です</b>	<b>913 神さまを待っている</b>	<b>913 この闇と光</b>
乗松葉子 ポプラ社	畑野智美 文藝春秋	服部まゆみ 角川書店
同じ委員会にならないと、卒業するまで友達にならなかったかもしれない子同士が理解し合い心が通じていく姿がグッときます。	貧困女子のリアルを描く内容です。大学を出て普通に就職をして、と思っていたはずの主人公がなぜかホームレスになって、生きていくために自分すらも見失いかける、という話です。いろいろと考えさせられました。	最初の世界観と最後の世界観がまったく違うのでおどろきました。内容は読んでみないとおもしろくなくなるので詳しくは言えません。
<b>913 かいけつゾロリシリーズ</b>	<b>913 ちょっとだけ弟だった幸太のこと</b>	<b>913 ふしぎ駄菓子屋銭天堂</b>
原ゆたか ポプラ社	東多江子 そうえん社	廣嶋玲子 偕成社
おやこでつぎつぎよめたのしい/おもしろかったです。/いっしょに読むとたのしいから/ひらがなが読めるようになった幼児でも最後まで読むことができます。そのくらい楽しいです。/2年生の頃から、かいけつゾロリシリーズが好きでよく借ります。/子供が大スキな「かいけつゾロリ」シリーズ。大スキだからこそ、長いお話も一生懸命声を出して読み、聞き役の母も子どもの声だから頭に入ります。	りょうたが幸太をまいごに合わせてしまったのに、「自分の家の犬にしたい」といったのが印象的だったからです。	人間の欲望を描いてあり、欲望ばかりじゃだめだなあーと子ども達に教えられた。

